

日本気象学会

九州支部だより

No. 146 2023年12月



発行者
日本気象学会九州支部
〒810-0052
福岡市中央区大濠1-2-36
福岡管区気象台
地域防災推進課内

Tel: 092-725-3614
Mail: info@msj-kyushu.jp
HP: <http://msj-kyushu.jp/>

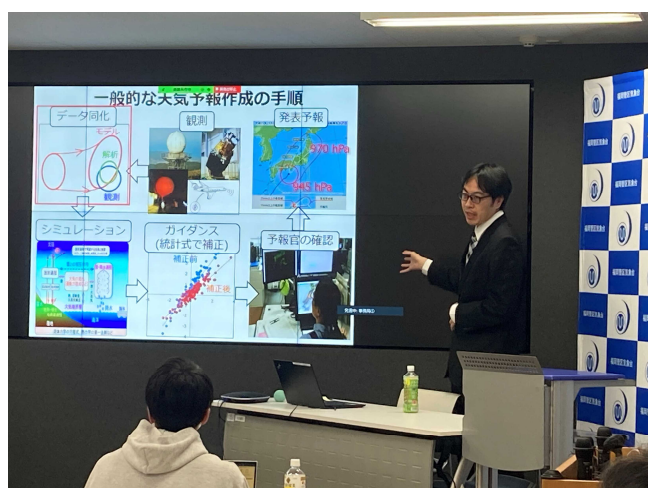
今回の記事

- ◆気象教室(11/26)開催報告
- ◆支部会員だより「ミスタートルネード「藤田哲也博士」の足跡を訪ねて」
私設気象史資料センター長 松田 寛 氏
- ◆事務局からのお知らせ

気象教室(11/26)開催報告

九州支部事務局

「データ同化」をテーマに、11月26日(日)に第24回の気象教室を開催しました。4年ぶりの対面開催かつ、初めての対面とオンラインのハイブリッド開催とし、会場10名、オンライン80名(最大)の参加がありました。多数質問もあり、大盛況で終わることが出来ました。会場参加いただいた参加者には、気象教室終了後に福岡管区気象台の見学を実施しました。



講演1「観測データと数値シミュレーションの融合」

伊藤准教授(京都大学防災研研究所)



講演2「大気環境予測におけるデータ同化」

弓本教授(九州大学応用力学研究所)

支部会員だより

ミスタートルネード「藤田哲也博士」の足跡を訪ねて

～九州工業大学附属図書館 藤田コレクションに行きました！！～

私設気象史資料センター長 松田 寛

去る9月、九州工業大学附属図書館内にあります、藤田コレクションコーナーに行ってきました。九州工業大学は、故藤田哲也博士の母校であり、若きころに助手や物理学の助教授を勤めた大学（旧：明治専門学校）です。

1. 藤田哲也博士のプロフィールと功績について

藤田哲也博士は、1920年（大正9年）10月23日、福岡県企救郡曽根村（現：北九州市小倉南区中曽根）に生まれました。

1943年（昭和18年）に明治専門学校（現：九州工業大学）を卒業後、同校の助手（現：助教）と助教授（現：准教授）を勤め、同じ時期に、独学で気象学の研究を始めました。

1947年に、雷雲から下降気流についての研究で、福岡県と佐賀県にまたがる脊振山にあった福岡管区気象台の脊振山測候所と米軍のレーダーサイトに通っていました。

ある日、米軍レーダーサイトに伺ったとき、測候所の所員からゴミ箱に捨ててあった雷雲の下降気流についてのレポートを頂きました。このレポートが、藤田哲也博士が気象学者になる転機となりました。このレポートこそ、シカゴ大学気象学科 Horace Byers教授が書いたレポートは、藤田哲也博士と同じ研究テーマで書かれたレポートでした。藤田哲也博士は、シカゴ大学気象学科のByers教授に自分が執筆した雷雲の下降気流の論文を送りましたら、Byers教授よりお返事が届きました。シカゴ大学に招聘したいという返事でしたが、当時は、博士号を取得していなかったため、博士号を授与されたあとで、シカゴへ向かうことをByers教授に伝えました。

1953年（昭和28年）に「台風に関する解析的研究」で東京大学より博士号を授与され、シカゴ大学気象学部客員研究員としてシカゴへ赴任し、竜巻をはじめとする研究を始めました。

1962年に、シカゴ大学気象学部准教授。1965年に、シカゴ大学気象学部教授に就任。1971年には、竜巻の研究で、航空機使用した観測・現地調査により、被害状況から竜巻の風速スケールを推定する藤田スケール（Fスケール）を考案しました。現在でも採用されています。

1975年、シカゴ大学気象学科 藤田研究室に1本の電話がかかってきました。電話の主は、イースタン航空からで。イースタン航空66便の墜落事故の解明を藤田哲也博士に依頼してきました。1976年にイースタン航空墜落事故の原因として、「ダウンバースト」と解明しました。1978年5月には、NIMROD観測計画を実施し、観測によってダウンバーストを証明しました。これらの功績で、藤田哲也博士は、日本気象学会 岡田賞と藤原賞などを受賞されました。

2. 藤田哲也コレクションの紹介

2020年12月にご遺族の承諾を得て、藤田哲也博士記念会より約3000冊の藤田哲也博士の論文や書籍など資料一式を九州工業大学に寄贈されました。2022年5月に寄贈図書を附属図書館にて整理し、カフェラウンジコーナーを改修し、「藤田哲也コレクション」を設置されました。



写真1 藤田哲也コレクションコーナーの正面左側の写真

藤田哲也博士のプロフィールや研究功績を紹介するパネル



写真2 パネルには、Fスケールとダウンバーストの解説が、わかりやすく詳しく解説されています。

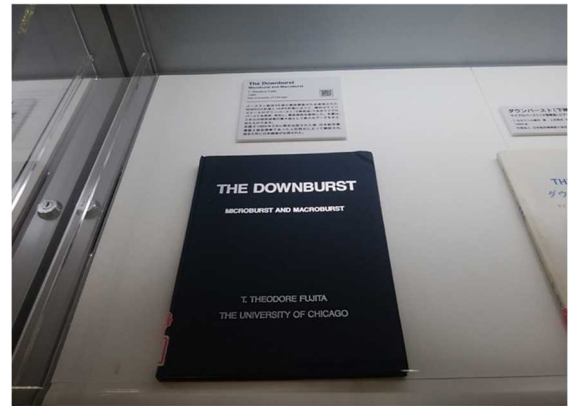


写真3 1975年のイースタン航空66便の墜落原因調査から「ダウンバースト」を発見したときの論文



写真4 藤田哲也博士が使用した書籍と論文等



写真5 藤田哲也コレクションコーナーの正面全体

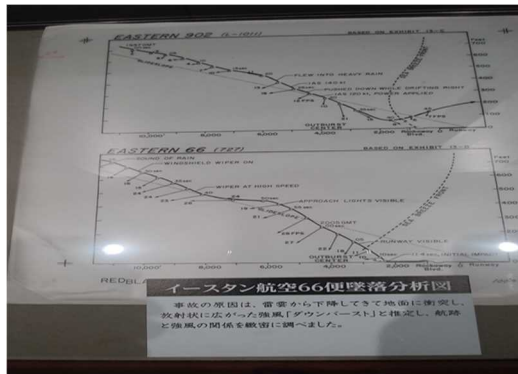


写真6 「ダウンバースト」の発見につながったイースタン航空66便の墜落分析図

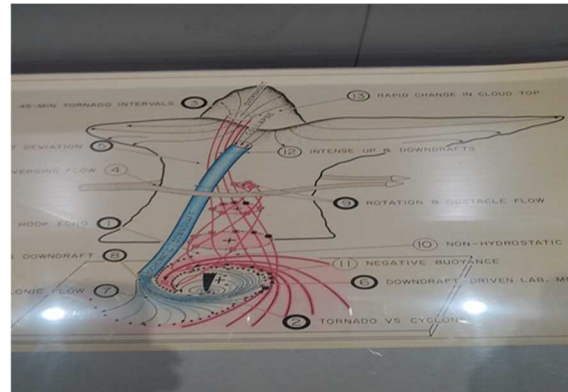


写真7 積乱雲のメカニズム図式

＊藤田哲也博士の業績は、気象学会九州支部だより2014年12月号に掲載しております。

＊藤田哲也博士記念会については、「天気」65巻(2020)12号に記事があります。

＊藤田コレクションの蔵書は九州工業大学附属図書館のホームページから、検索できます。

＊藤田哲也博士資料展示は、北九州市科学館にも提示しております。

この原稿を執筆するにあたり、九州工業大学附属図書館サービス係の森脇裕紀様より多大なご協力をいただきました。この場をお借りし厚く御礼申し上げます。

支部事務局からのお知らせ

今後の支部イベントについて

令和6年2月3日（土）にサイエンスカフェを実施予定です。専門家に九州大学の広田先生、案内役に気象予報士会の平河様をお招きし、農業と気象についてお話いただく予定です。

また、令和6年3月3日（日）には支部発表会およびジュニアセッションを開催予定です。

詳細については、決まり次第ご連絡いたします。

藤田哲也博士の講演動画について

今回、会員の松田さんから藤田コレクションコーナーの紹介をしていただきましたが、事務局のある福岡管区気象台のHPでは、1993年12月に福岡管区気象台で行われた藤田哲也博士の講演動画等を紹介しています。ご興味のある方は是非ご覧ください。

■福岡管区気象台HP（藤田哲也博士の講演動画）

https://www.data.jma.go.jp/fukuoka/chosa/fujitapage_bugai.html